

# 大崎市子ども読書活動推進計画



平成20年10月

大崎市教育委員会

# 大崎市子ども読書活動推進計画 目次

第1章	はじめに	1
1	子どもの読書活動の意義	
2	大崎の子どもの読書状況	
3	計画策定までの経緯	
第2章	計画の基本目標と基本方針	2
1	基本目標	
2	基本方針	
3	計画の期間	
第3章	それぞれの場における読書活動の現状と課題及び今後の取り組み	3
1	家庭における現状と課題及び今後の取り組み（妊娠期から乳幼児期）	3～4
2	幼稚園・保育所（園）における現状と課題及び今後の取り組み	5～6
3	小・中学校における現状と課題及び今後の取り組み	7～8
4	公民館・児童館における現状と課題及び今後の取り組み	9～10
5	図書館における現状と課題及び今後の取り組み	11～12
6	障害のある子どもに対する現状と課題及び今後の取り組み	13
7	子ども読書活動関係団体・読み聞かせボランティア等における 現状と課題及び今後の取り組み	14
第4章	計画の推進	15
1	推進体制	
2	社会的機運の醸成	
[参考資料編]		別冊

# 第1章 はじめに

## 1 子どもの読書活動の意義

今日、テレビやビデオ・インターネット等の様々な情報メディアの発達や普及により、子どもをとりまく環境の中に大きな変化がみられます。更には、幼児期からの読書習慣の未形成等により、子どもの「読書離れ」や「活字離れ」が指摘されています。

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものであり、社会全体でその推進を図っていくことは極めて重要であり、読書の持つ計り知れない価値は認識されています。

次代を担う子どもが、読書の喜びを味わい、読書が生活の中に習慣付けられ継続することにより、本を通じて感じたことや考えたことを家庭内等で話し合う機会が増え、人と人との関係を豊かにし思いやりの心を育むとともに生きる力を養う大切な活動であると考えます。

## 2 大崎の子どもの読書状況

平成20年1月、大崎市教育委員会が0歳から5歳児までの保護者を対象に実施した「絵本についてのアンケート調査」によると、保護者の66%が本を好きであり、子どもの91%が絵本を好きな傾向にあります。乳幼児期に家庭の中で読み聞かせが繰り返され、本に親しむ基礎が構築され本好きの子どもが育っていきます。市内の学校では全校一斉の読書活動を実施している小学校が90.3% 中学校で90.9% であります。特に始業前に実施している活動が、子ども読書の習慣づけに大きな力となっています。

## 3 計画策定までの経緯

国は、平成13年に、子どもの読書活動に関する施策の総合的、計画的な推進を図るため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」を制定し、平成14年には「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を策定しました。

この計画は、「すべての子どもが自主的に読書活動を行うことができる読書環境の整備を進めること」を基本理念とするものです。

また、宮城県では平成16年に、「すべての子どもが、本を読みたいと思った時にいつでもどこでも自主的に読書活動ができるよう環境の整備を推進し、心豊かでたくましく生きるみやぎの子どもの育成を目指します」を目標としています。大崎市では、これら国、県の計画を基本としながら「大崎市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

## 第2章 計画の基本目標と基本方針

### 1 基本目標

「本と親しみ、本を楽しむ環境をつくり、読書好きの子どもたちを育みます」

### 2 基本方針

大崎市は、計画の目的を達成するために、次の3つを基本的方策として具体的な取り組みを進めます。

#### (1) 子どもが読書に親しむ機会の提供と環境づくり

子どもが自主的に読書を行うようになるためには、乳幼児期から絵本に親しむような環境づくりに配慮することが必要であります。子どもが積極的に読書意欲を高め、生涯にわたる読書習慣を身につけるよう、子どもの発達段階に応じて子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、その読書活動を広げ、読書体験を深めることが大切であります。

このような観点から大崎市は、子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境づくりを推進します。

#### (2) 家庭・地域・学校等との連携と協力

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、家庭・地域・学校、図書館等の関係機関、民間団体、事業者等が緊密に連携し、社会全体での取り組みが必要であり、それぞれがその担うべき役割の重要性を認識し相互に協力を図りながら読書活動を推進します。

#### (3) 子ども読書活動を推進する社会的気運の醸成

子どもの読書活動の意義や重要性について、市民との間に理解と関心を深める必要があります。子ども読書に関わる団体やボランティア等によるネットワークを構築することにより、様々な情報を得やすいような環境づくりが進み、子どもの自主的な読書活動を推進する社会気運の醸成を図るため、読書活動の意義や重要性について、広報おおさきやホームページ等において広く情報を発信しながら広く普及・啓発に努めます。

### 3 計画の期間

この計画の期間は、平成20年度から概ね5年間とします。

### 第3章 それぞれの場における読書活動の現状と課題及び今後の取り組み

#### 1 家庭における現状と課題及び今後の取り組み

##### (1) 現状と課題

核家族化や高度情報化の進展に伴い、子どもを取り巻く家庭環境・社会環境が大きく変化しています。さらに子ども自身も、塾や習い事等、多様化され多くの時間を費やし、家庭における読書の時間や機会も少なくなってきました。

子どもの心を豊かにし、社会性を育むのが読書です。最も関わりが深いのは家庭であり、子どもの読書離れを止めるためにも、家庭において読書に親しむ工夫が求められます。

大崎市では、乳幼児を持つ保護者を対象にアンケート調査を実施しました。

その結果、71%の家庭で11冊以上の絵本を所持し、86%の家庭で読み聞かせが行われています。また、そのうち20%の家庭では毎日読み聞かせ、50%の家庭では週に数回読み聞かせが行われています。さらに、毎日読み聞かせしている家庭の29%が寝る前に読み聞かせしているという結果が出ており、「お子さんが絵本が好き」と回答しているのは91%で、「保護者が本が好き」と回答しているのは66%でした。

子どもの読書習慣は毎日の生活を通して身につくものです。家庭において読み聞かせをしたり、読書の時間を設けたりして、生活の一部に読書を位置づけていくことが大切です。特に乳幼児期は、子どもの感性や情操、言語能力等を形成する重要な時期であり、読み聞かせや読書を通じた親子のふれあい、言葉遊びを行うことは、その後の読書活動に良い影響を与えます。

今後、保護者が子どもの読書活動の意義や重要性を理解し、子どもが読書活動に継続して取り組めるよう、発達段階に応じた働きかけをすることが求められています。

読書によって、もたらされる豊かな心を育むため、親子での読書や読み聞かせを行う等、親子で読書を楽しむことを通し、親子のふれあいの大切さを伝えられるような啓発や情報提供が必要です。

## (2) 今後の取り組み

### ① 乳幼児健康診査等を通じた啓発及び情報提供

- 3～4か月児健康診査，1歳6か月児健康診査，2歳6か月児歯科健康診査，3歳児健康診査，6～7か月児離乳食相談，11～12か月児育児相談等において，月齢にあわせた絵本の読み聞かせの意義や大切さについて啓発及び情報提供を行います。
- 啓発パンフレット，啓発用ポスターにより，親子の心のコミュニケーションを豊かにする絵本の大切さや年齢に応じた絵本を紹介します。
- 保健施設内や乳幼児健康診査会場に，気軽に手にとって読める絵本や図書紹介等のちらし，啓発パンフレットを置き，家庭で読み聞かせの本を選ぶ際の手がかりとなるような情報提供を行います。
- 妊娠期から継続的に支援します。
  - ・母子健康手帳交付時に啓発パンフレットを渡し，妊娠中の方へ絵本の良さを伝えます。
  - ・パパママ講座やママサロンで，読み聞かせの重要性を保護者に伝えます。

### ② 家族ぐるみの読書の推進

- 乳幼児健康診査時や学校・幼稚園・保育所（園）・公民館・児童館・図書館等において，読み聞かせの意義や大切さについて啓発及び情報提供を行います。また，親子で参加できる読み聞かせ会やお話会等を開催し，読書をする習慣を作っていくことの大切さを呼びかけます。
- 各家庭において，常に読書できるような環境を作るために，学校・幼稚園・保育所（園）・公民館・児童館・図書館等の蔵書の充実努めるとともに，施設間のネットワーク化を推進し，連携を図ります。

## 2 幼稚園・保育所（園）における現状と課題及び今後の取り組み

### （1） 現状と課題

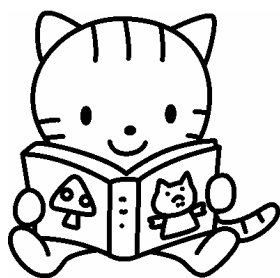
幼稚園・保育所（園）では、絵本を通して想像力を高め、子どもの感性を豊かにし、情緒の安定を図ることが大切だと考えており、絵本の読み聞かせに力を入れています。発達に応じた絵本やお話と出会い“お話大好き”、“絵本大好き”な子どもに育つように願って取り組んでいます。

保育所（園）では、子どもの豊かな心を育むために家庭での絵本の読み聞かせを大切にするように伝えています。そこで、家庭へは保育所の絵本を貸し出したり、お便り等で絵本の紹介をしたりしています。

絵本を選ぶにあたっては、0歳児～5歳児までの発達に応じた内容、色合い、言葉づかいがされているものを重要視し、絵本の内容を十分楽しめるように読み方に気を配り部屋の環境づくりにも配慮しています。

幼稚園では、子どもと絵本の出合いを充実したものにしていくために、教諭が幼児に薦めたい絵本を毎月購入し、全員が家に持ち帰り家庭でも読み聞かせをしていただく機会をつくっています。また、子どもの興味や関心に応じて、時には活動の導入の手段としてお話や絵本の読み聞かせ等を指導計画に位置づけています。子どもが絵本を見たり、お話を聞いたりしながら、想像の世界を広げたり、間接体験をしたりしてその思いなどを友達や読み手と共有していくことを大切にしています。

絵本やお話を楽しむ子どもの姿を通して、子どもの心の育ちに絵本の読み聞かせが大切であることを保育士（教諭）自身が自覚し、保護者に伝えていく必要があります。また、親子で一緒に絵本を読む体験や保護者も絵本やお話を見たり聞いたりする等の体験を通して、保護者自身が絵本に親しむことの楽しさを体感することも必要です。



## (2) 今後の取り組み

### ① 読書環境の整備・充実

- 保育所(園)では読み聞かせを今後も継続し、より多くの絵本やお話に触れる機会を得られるようにします。また、図書館と連携を深めて積極的に活用し良い絵本を提供していきます。
- 幼稚園では、落ち着いた雰囲気の中でゆっくりと楽しめるよう環境づくりに努め、絵本コーナーや読み聞かせの時間を設定していきます。そして、図書館と連携を深めて積極的に活用し良い絵本を提供していきます。
- 絵本や読み聞かせを行っているボランティア団体等の実状を把握するとともに連携をとり、絵本やお話を聞く機会を設けていきます。

### ② 絵本の良さを伝える保育士・教諭等人材の充実

- 保育士や教諭の指導力向上と意識の高揚を図るため、それぞれの場において講座や研修会を開催します。
- 保育士や教諭同士、図書館等と連携をとりながら子どもの読書活動の充実につとめます。

### ③ 家庭への読書の重要性についての啓発

- 保育所(園)では、子どもの健やかな成長にとって乳幼児期からの読書が極めて重要であることや、子どもの発達に合った絵本の選び方などを、参観や保護者会等の機会を活用したりお便り等でお知らせしたりして保護者に啓発・指導します。
- 幼稚園では、保育参観などを通して教諭が保護者を対象に絵本を読み保護者に絵本の楽しさや良さを体験してもらったり、保護者同士が読み聞かせをする学習会を行ったりして、幼児期における絵本やお話の重要性について啓発に努めます。



### 3 小・中学校における現状と課題及び今後の取り組み

#### (1) 現状と課題

小学校では「読み、書き、計算」という基礎・基本を重視する観点から、朝の時間などを活用して読書活動に取り組み、習慣化を進めています。

また、中学校でも同様の取り組みがなされています。平成18年度学校図書館の現状に関する調査によると、市内の小・中学校で全校一斉朝読書に取り組んでいる小学校は90%、中学校は91%であり、ほとんどの学校が実施しています。児童・生徒もこの一斉読書の時間を楽しみにしていて、「朝の時間が落ち着いて迎えられ、集中力が増してきた」「本好きの児童・生徒が増えた」「本を介して友達関係が広がり深まった」等のよさが見られるようになってきています。

図書館は単に読書する場としての活用だけではなく、各学校が工夫を凝らした取り組みをしています。ボランティアによる読み聞かせやペープサートもその一つです。また、秋に読書週間を設け、図書委員会等の児童会・生徒会が中心となって「図書祭り」を実施して、読書への興味を高めている小・中学校もあります。更に、総合的な学習の時間の導入もあって、学校図書館を活用して、いろいろな調べ学習に取り組んでいます。

しかし、学校図書館司書が配置されている学校が少なかったり、学級担任が司書教諭を兼務していたりするので、今後学校体制の充実が必要です。

学校図書館図書標準による蔵書数の達成率は、平成18年4月に文部科学省発表の学校図書館の現状に関する調査結果によると、本市小学校で45%、中学校で約58%となっており、読書活動や調べ学習をするにあたりまだまだ多くの図書が不足しています。また、小・中学校1校あたりの図書購入費を見ても県や全国平均額より下回る結果が出ています。文部科学省の新たな「学校図書館整備5カ年計画」等に基づき、より充実した図書館環境の整備が望まれます。

## (2) 今後の取り組み

### ① 学校図書館の必要備品の整備，蔵書の充実

- 学校図書館が「学習情報センター」「読書センター」としての機能を発揮できるよう，各校の要望に基づいた必要備品の整備に努めます。
- 児童・生徒が日々の生活の中で，読書を楽しむことができる学校図書館となるよう，また調べ学習に対応できるよう，学校図書館図書標準に基づいた蔵書数確保に取り組みます。
- モデル校等方式により，児童・生徒の学習のために必要な図書資料や興味・関心に合った蔵書の充実に努めます。
- 学級文庫等の他に，図書コーナー，保健室文庫等，学校のスペースを利用して，身近なところに本がある環境の整備に努めます。

### ② 学校図書館の運営や読書指導に関わる研修会の充実

- 学校図書館の運営や読書指導に関わる研修会を実施し，司書教諭をはじめとする学校図書館関係者の専門性の向上と意識の高揚を図ります。

### ③ 家庭，図書館，ボランティアとの連携

- 学校だより等を通して保護者に学校での読書活動の様子を知らせ，児童・生徒の読書に関する情報を提供することによって大人も含めた家庭における読書習慣の形成を促進します。
- 公立図書館等との連携を進めるとともに，「子ども読書の日」「校内読書週間」等の取り組みを通して，読書習慣の確立に努めます。
- 学校図書館司書・図書館補助員の配置に努めるとともに，地域やPTAの読書活動ボランティアとの支援・協力により，読み聞かせやお話会，図書の整理など，多様な読書活動の推進と学校図書館の環境整備に努めます。

### ④ 読書時間の確保

- 多くの学校で実施している「朝読書」やPTAやボランティアによる「読み聞かせ」は，児童・生徒が読書の楽しみや喜びを知る大変貴重な時間です。そのためそれぞれの実態を考慮しながら，定期的・継続的な読書活動を一層推進します。

## 4 公民館・児童館における現状と課題及び今後の取り組み

### (1) 現状と課題

現在、大崎市には6基幹公民館があり、図書館のない地域における住民の窓口として公民館図書室を設けています。また、基幹公民館を中心に20の地区公民館も設置されており、その多くに図書コーナーを設けています。幅広い年齢層の方が利用されるため、蔵書は一般書や児童書等様々であり、図書館との連携を図っているため、読書の幅も広がっています。しかしながら、市民からの寄贈に頼った整備をしており、蔵書の更新が図りにくい状況です。

いくつかの公民館においては、子育て支援事業や学校週5日制対応の子どもの広場事業として、活動を展開しています。また、絵本や紙芝居の読み聞かせ等を、未就学児や保護者を対象に行っている館もあります。しかしながら現状では、地域における行事や他の体験活動の一環として事業を行うことが多く、子どもの読書に絞って公民館事業を行うのが難しい状況です。

また、本市は8児童館・児童センターを設置し、大崎市児童館管理規則や児童館運営方針に基づき、「健全な遊びを通し、心身ともに健やかで情操豊かな子どもに育成すること」を目的として運営しています。

利用状況は、放課後児童クラブ事業を運営している施設が多いため、小学生が約90%を占めています。小学生のいない時間帯には乳幼児対象の親子クラブ・子育てサークル等の利用もあります。

図書室(図書コーナー含む)は全館に設けられており、来館者が閲覧できる状況です。貸し出しをしていないところがほとんどですが、多くの方が利用している実績があります。また、「読み聞かせ」や「お話会」は行事や各種事業等で行っています。

今後も0歳から18歳までが利用できる施設としての機能を発揮し、さらに読書活動を推進していくことが必要と思われます。

## (2) 今後の取り組み

### ① 読書環境の整備・充実

- 公民館において、子どもが地域学習に必要な資料に気軽に触れられるよう、公民館の特性をいかし、地域に根ざした関係図書収集・充実に努めます。また、子どもたちへのサービスに取り組むとともに、資料の展示や地域の要求や実状に応じた読書活動に関する事業の断続的な展開を目指します。
- 児童館では、利用者が随時閲覧できるようになっており、図書室利用は定着してきています。今後は貸出なども視野に入れ、年次的に蔵書を増やす等、来館者が図書室を活用しやすい環境の整備を行います。

### ② 家庭や地域への読書の重要性についての啓発

- 公民館において、読書活動に関する事業はもちろん、子育て支援事業等保護者が参加する事業においても、子ども読書の重要性について啓発を行い、保護者や地域ボランティアの意識向上を図ります。
- 児童館では、おたよりや行事等で、読書についての掲載・読み聞かせやお話会等を通して、お話の世界の魅力や読書の重要性について、読書に関わる情報を提供します。

### ③ 地域・関係機関等との連携

- 公民館において、図書館や関係機関と連携を図り、書籍の情報交換や相互貸借を行い読書の幅を広げるよう努めます。また、読書活動団体や地域ボランティア等と連絡をとり、図書だより等を通して各団体の活動状況や書籍の情報や読書に関わる情報を提供するよう努めます。
- 児童館では、図書室の本の充実を図るために、家庭や地域・図書館や学校等に使用しなくなった図書の提供を求め、蔵書の充実を図ります。また、地域で活動している読み聞かせのボランティア等と連携を深め、今後の活動に取り入れ、よりよい事業展開を図ります。

## 5 図書館における現状と課題及び今後の取り組み

### (1) 現状と課題

大崎市は、1図書館を設置しています。また、松山・三本木・鹿島台・岩出山・鳴子・沼部地域の6基幹公民館図書室と連携し、図書の貸出サービス等を提供しています。

図書館の蔵書数は約13万5千冊、内児童書数は3万9千冊で全体の30%にあたり、児童書の貸出冊数は年間8万3千冊を超えています。

図書館では、子どもの読書活動を推進するため、資料の充実のほか、本に親しむための事業を開催し、本への興味・関心を喚起するよう努めています。館内での0歳児～小学生を対象にした紙芝居や絵本の読み聞かせ等のお話会を中心に、季節に応じた企画や小・中学生を対象にした読書感想文コンクール等の事業を行っています。

これらの事業には、ボランティア団体の協力を受けて開催しているものもあり、そのことによって、より充実した図書館事業を展開しています。

一方、大崎市の地形は東西に長く、図書館から遠い地域の子どものには、気軽に利用できる体制となっていないため、サービスを受ける機会が少ないことが課題の一つといえます。尚、読書に関心の薄い子どもの利用促進には、学校・幼稚園・保育所等との連携による働きかけや家庭での働きかけが大きなポイントとなってきます。

また、職員においては、児童サービス担当者を配置し、継続した研修育成による資質の向上を図り、子どもと読書を結ぶ等のきめ細やかな支援が必要です。

### (2) 今後の取り組み

#### ① 資料の充実・読書スペースの確保

- 図書館において、これまでの資料整理を行うとともに、児童図書や青少年図書資料の更なる充実を図り、環境の整備に努めます。
- 蔵書の動きを考慮し、図書館に来る度に新しい発見があるような活気と魅力溢れる書架づくりに努めます。
- 幅広い資料収集に努め、障害のある子ども等の利用にも応えられる環境づくりに努めます。
- 分かりやすい書架の整理及び展示により、子どもが気軽に本にふれあえ、本に対する興味を高められるよう努めます。

② **読み聞かせ事業等の展開**

- 図書館内で、お話会等の行事を開催し、子どもに本の楽しさ、お話のおもしろさを伝える機会を提供していきます。
- 図書館外でもお話会等を開催できるようボランティアの育成を行い、より多くの子どもに本への興味や関心を喚起し、図書館利用の促進につなげていきます。

③ **司書・職員の能力向上**

- 子どもと本をつなぐ上で最も重要な役割を果たすのは、図書館職員にほかなりません。積極的な研修受講等により、職員の知識・技術の向上に努め、その経験がいかされるよう努めます。

④ **児童図書・青少年図書に関する案内の充実**

- 市民や学校・幼稚園・保育所等からの児童図書に関する質問や相談等に積極的に応えます。
- 読書案内のための資料整備やリスト等の作成で、誰もが本に興味を持つ機会を提供します。

⑤ **学校・幼稚園・保育所（園）や公民館図書室との連携**

- 学校・園等で行っている読書活動、図書館や公民館図書室での事業、また互いの要望等について、情報を交換しながら、より良い連携方法を検討し実施します。
- 現在行っている学校・園等からの要望に応じた団体貸出を引き続き行います。
- 職場体験や図書館見学を通じて図書館について知ってもらい、本に親しむとともに読書への興味関心を深める機会になるよう努めます。
- 学校・園等の職員のための講習会等の開催に協力し、その知識・技術の向上を支援します。
- 公民館図書室とのネットワーク化を行い、利用の機会を増やすよう努めます。

⑥ **ボランティア団体の把握、活動支援**

- 子ども読書にかかわるボランティア団体等の実状を把握し、活動内容の充実や発展のための支援・協力を行います。

## 6 障がいのある子どもに対する現状と課題及び今後の課題

### (1) 現状と課題

障がいのある子どもに対しては、様々な障がいやその程度により、十分に絵本や本で物語を楽しむことができない、もしくはそういった機会を持ちにくいことから、個々の対応が必要となります。

一人ひとりの状態に応じた読書活動となることから、一人ひとりが気軽に本に触れることのできる環境を整える必要があり、障がいや発達段階に応じた魅力的な図書資料の充実、関係者の専門性の向上、利用できるサービスの周知・広報が大切です。

このような中で図書館では、障がいに対する理解を深めるための図書の収集、朗読CDや声の広報等の録音資料の充実に努めているところです。

### (2) 今後の取り組み

#### ① 読書環境の整備・充実

- 図書館において、障がいに応じた利用しやすい資料の収集に努め、障がいのある子どもの活用に応えられる環境づくりに努めます。
- 図書館において、障がいに対する理解を深めるための図書の収集を推進します。
- 学校において、豊かな読書活動を体験できるようにしていくため、図書館と連携して子どもの障がいの程度及び発達段階に伴うニーズに応じた蔵書に努めます。

#### ② 職員の専門性の向上

- 障がいに対する適切な理解に基づく読書活動推進のため、関係職員の専門的な研修会・講習会への参加を促進します。

#### ③ 利用サービスの周知・広報

- 障がいのある子どもが利用できるサービスについて、学校等関係機関を通じ、周知・広報をしていきます。

## 7 子ども読書活動関係団体・読み聞かせボランティア等における

### 現状と課題及び今後の取り組み

#### (1) 現状と課題

大崎市には図書館をはじめ、地域や学校・園に出かけて本の読み聞かせを行う等の活動を続けている団体・ボランティアや、講演会・学習会など定期的に開催している団体等があります。また、活動は把握しきれていないものの、地域や学校・園などで活発に活動している団体も多く、子どもの読書活動の推進に大きな力となっています。

それぞれの団体等の実態に即して、その知識・技術の向上や活動内容の充実・活性化を促し、必要に応じて情報交換を行えるように支援していくことに加え、これらの団体等の活動を広く市民に知ってもらえるよう、情報を提供していくことが必要です。

#### (2) 今後の取り組み

##### ① ボランティアの育成・交流

- 図書館や公民館等において、講演会・研修会を開催することにより、ボランティア活動をしている人、これから始めようとしている人の活動を支援します。
- 読み聞かせ活動等、子どもの読書活動に携わっている市民グループや学生ボランティアとの情報交換及び活動の場や資料の提供支援をすることにより、ボランティア等が活動する場を広げ、市民活動が推進されるよう努めます。

##### ② 情報収集と提供

- 各団体等へ情報を提供し、共有化を図ることで、その交流を支援します。
- 市内ボランティア団体等の把握に努め、団体等及びその活動内容に関心を持つ市民の要望に応じた情報の提供を行います。



## 第4章 計画の推進

### 1 推進体制

子どもの読書活動の総合的な推進のためには、家庭・地域・学校等が連携を図りながら、読書の重要性を認識し計画的に推進していくことが重要です。

子どもの読書習慣は日常の生活を通して形成されるものであり、読書が生活の中に位置づけられ継続して行われるよう保護者の配慮も望まれ、乳幼児期から読書に親しむような環境づくりやそれぞれの事業を調整する組織や体制も必要です。

また、この計画を「大崎市社会教育計画」の重点施策に位置づけ、市民との協働を図りながら「大崎市子ども読書活動推進計画」に基づいて、子どもの読書活動を推進していきます。

### 2 社会的気運の醸成

子どもは、大人から民話などの話を聞いたり、読書する大人の姿に触発されたりして、読書意欲を高めることは、子どもを取り巻く大人を含めて読書活動を推進する気運を高めるとともに、社会全体が読書活動に理解と関心を持つことが子どもに自主的な読書態度や読書習慣を身につけさせるうえで重要です。

このような観点から、子どもの自主的な読書活動を推進する社会的気運の醸成を図るため、読書関係ボランティア等によるネットワークを構築し、様々な情報を得やすい環境づくりを進め、広報おおさきやホームページ等において広く情報を発信しながら普及・啓発に努めます。

## 参考資料編 目次

### 1 絵本についてのアンケート集計結果 ..... 1～4

- (1) 自宅にある絵本の総数
- (2) 子どもに読み聞かせをしているか
- (3) 読み聞かせはどの程度しているか
- (4) どんな時に読み聞かせをしているか
- (5) あなたのお子さんは絵本が好きですか
- (6) あなた（保護者）は本が好きですか

### 2 学校等における子どもの読書活動の現況 ..... 5～6

- (1) 全校一斉の読書活動を実施している学校の割合
- (2) 全校一斉の読書活動を実施している時間帯（始業前）
- (3) 読書活動推進の取り組みを実施している状況
- (4) ボランティア等の協力を得ている学校の割合
- (5) 公立図書館との連携状況
- (6) 大崎市における学校図書館の人的整備状況
  - ① 司書教諭の在籍状況
  - ② 学校図書館担当職員数
- (7) 大崎市における学校図書館の物的整備状況
  - ① 蔵書状況
  - ② 図書購入状況

### 3 公民館図書室事業実績 ..... 7

- (1) 所蔵資料受払（児童・一般・参考図書）
- (2) 所蔵資料受払（雑誌・視聴覚資料）
- (3) 登録者数
- (4) 資料貸出数及び利用者数（図書、雑誌、視聴覚資料）

## 4 市立図書館の事業実績 ..... 8~9

- (1) 所蔵資料受払
- (2) 決算及び受入資料数
  - ① 図書館費（除く職員人件費）
  - ② 図書購入費の内訳
  - ③ その他資料
- (3) 利用状況
  - ① 登録者数・貸出利用者数
  - ② 学習室・図書館利用状況
  - ③ 貸出数
  - ④ 分類別貸出数
  - ⑤ 月別貸出数
  - ⑥ レファレンス処理状況
  - ⑦ コピーサービス状況
  - ⑧ リクエスト処理状況
  - ⑨ 利用状況指標

## 5 古川南中学校図書館利用状況 ..... 10

※市内の0～5歳児の保護者対象に、アンケートを実施しました。

## 絵 本 に つ い て の ア ン ケ ー ト 調 査

あなたのお住まいは 大崎市 地域  
お子様の年齢は \_\_\_\_\_ 歳

※該当するものに○をつけてください。

I. 自宅にある絵本の総数

- ① ない
- ② 1～5冊
- ③ 6～10冊
- ④ 11～20冊
- ⑤ 21冊以上

II. 子どもに読み聞かせをしていますか

- ① している
- ② していない

III. 読み聞かせはどの程度していますか（「している」と答えた方）

- ① 毎日
- ② 週に数回
- ③ 月に数回

IV. どんな時に読み聞かせをしていますか（複数回答可）

- ① 寝る前
- ② ねだられた時
- ③ 時間のある時
- ④ その他（ \_\_\_\_\_ ）

V. あなたのお子さんは絵本が好きですか

- ① はい
- ② いいえ
- ③ わからない

VI. あなた（保護者）は本が好きですか

- ① はい
- ② いいえ
- ③ 好きでも嫌いでもない

\*アンケート結果は大崎市子ども読書活動推進計画策定に使用いたします。  
ご協力ありがとうございました。・・・・・・・・

整理番号

※整理番号は集計の際、市役所で使用しますので何も記入しないでください

# 1 絵本についてのアンケート集計結果

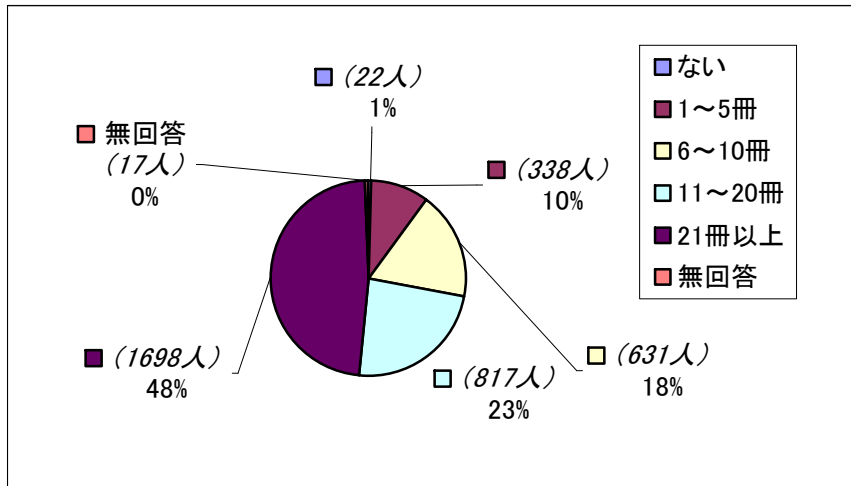
依頼総数 4,500

回答総数 3,523

回収率 78%

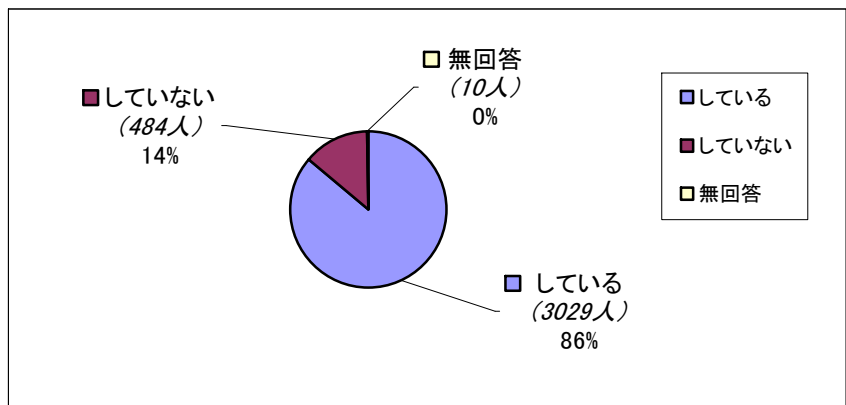
## (1) 自宅にある絵本の総数

ない	22
1~5冊	338
6~10冊	631
11~20冊	817
21冊以上	1,698
無回答	17
回答総数	3,523



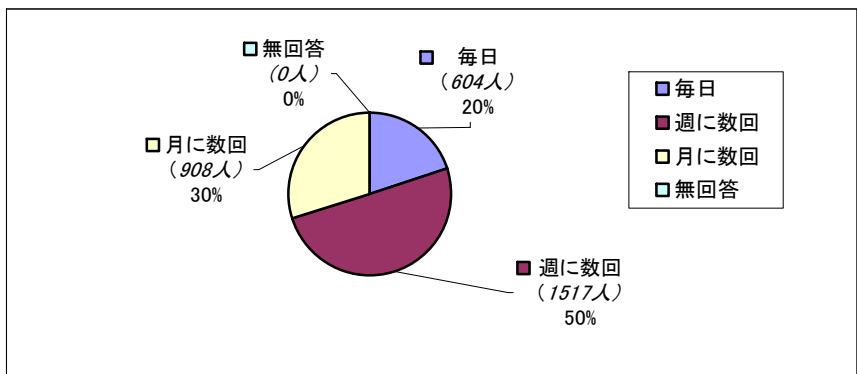
## (2) 子どもに読み聞かせをしているか

している	3,029
していない	484
無回答	10
回答総数	3,523



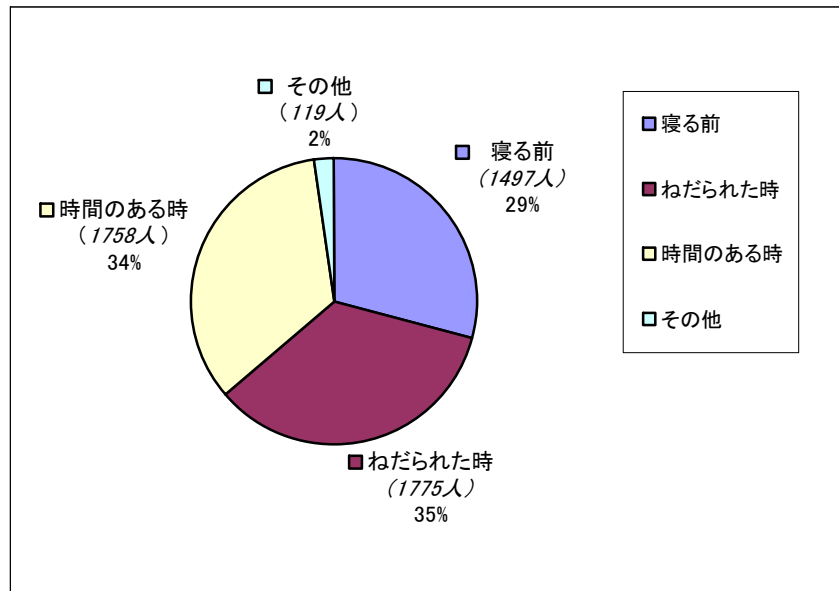
## (3) 読み聞かせはどの程度しているか

毎日	604
週に数回	1,517
月に数回	908
無回答	0
回答総数	3,029



(4) どんな時に読み聞かせをしているか (複数回答可)

回答数計	5,149
寝る前	1,497
ねだられた時	1,775
時間のある時	1,758
その他	119



その他 具体例 ①

(回答数)

- |  |    |
|--|----|
| 1 休みの日                                   | 13 |
| 2 車や病院での待ち時間                             | 10 |
| 3 新しい絵本を買った時, もらった時                      | 8  |
| 4 本人が見たい時に                               | 6  |
| 5 遊ぶ時間                                   | 6  |
| 6 図書館へ行ったとき                              | 5  |
| 7 お風呂の時                                  | 5  |
| 8 食後                                     | 5  |
| 9 兄弟が学校の宿題の本読みをかねて毎日絵本を読んでもくれます。         | 4  |
| 10 自分で読んで分からない時                          | 2  |
| 11 自分で読んでみて, 読んであげたいと思った時                | 2  |
| 12 登園前の時間                                | 2  |
| 13 他の兄弟がねだった時                            | 2  |
| 14 お昼寝の前                                 | 2  |
| 15 ぐずった時                                 | 2  |
| 16 上の兄弟が読んであげる時もある                       | 2  |
| 17 ほとんど1人で見てる                            |    |
| 18 字に興味があり自分で読む事もある                      |    |
| 19 本人も字が読めるので, 自分で読んだり, ごっこ遊びで遊びながら読んでいる |    |
| 20 兄弟が小学校の図書館でおもしろそうな本を借りてきた時            |    |
| 21 下の子に読んであげる時に一緒に                       |    |
| 22 おもしろい本があった時                           |    |
| 23 子供の友達がたくさんあつまった時など                    |    |
| 24 なんとなくそこに本があるから……という感じ                 |    |
| 25 うるさい時                                 |    |
| 26 子供をしかって泣かせた時の寝る前                      |    |
| 27 夕方, 休みの日など                            |    |
| 28 子どもが本を読んで, ママこれ読んでと本を持ってきた時           |    |
| 29 上の子が本を読んでいる時, 宿題をしている時                |    |
| 30 絵本のあるところに行った時                         |    |

その他 具体例 -②

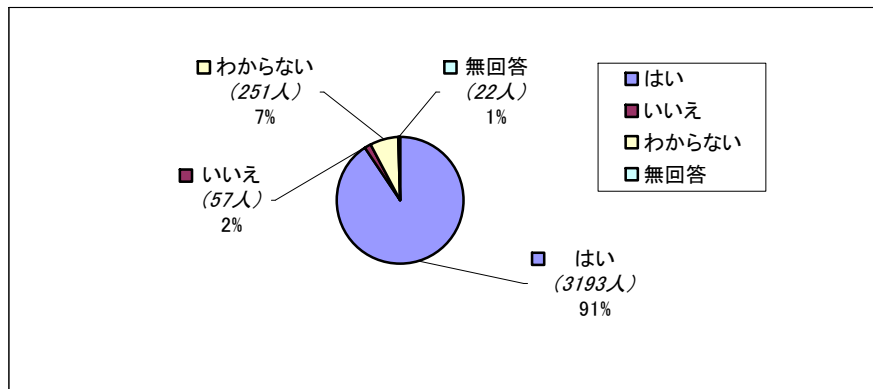
(回答数)

- 31 子どもが自分でうまく本読みができない時
- 32 カタカナの文字が多い時
- 33 時間を決めて
- 34 本人が自分で読むほうが好きなので、興味を持った時に聞かせてあげます。
- 35 外出できずに家で遊ぶ時
- 36 親の休日
- 37 子供から話されたとき
- 38 朝
- 39 気持ちを切りかえたい時
- 40 土・日、日中遊んでいる時
- 41 トイレの時
- 42 気分がのっている時
- 43 絵本を見て遊んでいる時
- 44 親が読んであげたい時
- 45 病院や施設等の待合室に本が置いてある時
- 46 2週間に1回は図書館に行って本を借りてみるようにしている。
- 47 本人が気になっている本を見ているとき
- 48 風邪の時
- 49 泣いた時
- 50 気持ちを落ち着かせたい時
- 51 保育園から絵本を持ってきたとき
- 52 家族で読んでいる時
- 53 (記述なし)

16

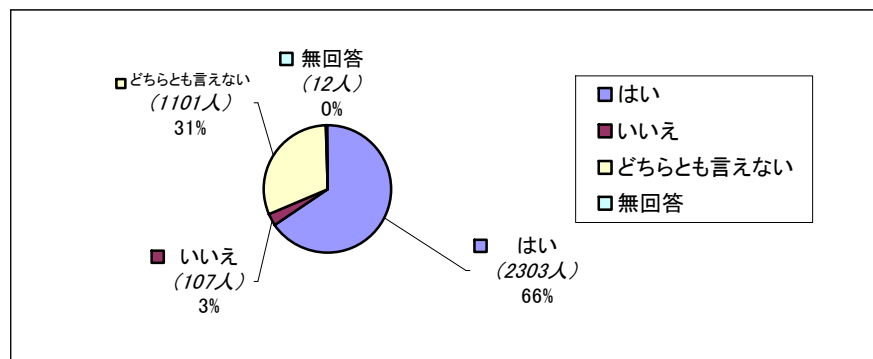
(5) あなたのお子さんは絵本が好きですか

はい	3,193
いいえ	57
わからない	251
無回答	22
回答数計	3,523



(6) あなた(保護者)は本が好きですか

はい	2,303
いいえ	107
どちらとも言えない	1,101
無回答	12
回答数計	3,523



## 2 学校等における子どもの読書活動の現況

### (1) 全校一斉の読書活動を実施している学校の割合

	小学校	中学校
大崎市 (H18)	90.3%	90.9%
宮城県 (H18)	94.2%	88.3%
全 国 (H18)	93.7%	81.2%

### (2) 全校一斉の読書活動を実施している時間帯（始業前）

	小学校	中学校
大崎市(H18)	90.3%	81.8%
宮城県(H18)	91.9%	84.3%
全 国(H18)	86.4%	74.4%

### (3) 公共図書館との連携状況

	小学校	中学校
大崎市(H18)	58.1%	9.1%
宮城県(H18)	60.1%	24.2%
全 国(H18)	10.3%	5.5%

### (4) 大崎市における学校図書館の人的整備状況

#### ① 司書教諭の在籍状況

	12 学級以上の学校数	司書教諭在籍学校数
小学校 (31)	11	11
中学校 (11)	6	6

#### ② 学校図書館担当職員数

	図書館担当職員	常 勤	非常勤
小学校 (31)	13	2	11
中学校 (11)	8	3	5



(5) 大崎市における学校図書館の物的整備の状況

① 蔵書状況

	H18 蔵書数
小学校	247,855
中学校	132,906

平成18年蔵書増減内訳

	増加冊数 ① ①=②+③-④	購入冊数 ②	寄贈冊数 ③	廃棄冊数 ④
小学校	6,261	7,479	2,125	3,343
中学校	22,052	23,694	588	2,230

② 図書の購入状況

	H18 図書購入金額
小学校	7,828,665
中学校	40,221,043

(古川南中学校新設による増額)

### 3 市立公民館図書室の事業実績

#### (1) 所蔵資料受払(児童・一般・参考図書)

図書室名	平成18年度末蔵書数	受入	除籍	平成19年度末蔵書数
松山公民館図書室	20,639	376	1,102	19,913
三本木公民館図書室	18,400	470	200	18,670
鹿島台公民館図書室	6,430	379	896	5,913
岩出山公民館図書室	27,281	10,800	0	38,081
鳴子公民館図書室	24,373	452	8,602	16,223
沼部公民館図書室	40,786	409	0	41,195
合計	137,909	12,886	10,800	139,995

#### (2) 所蔵資料受払(雑誌・視聴覚資料)

図書室名	平成18年度末資料数	受入	除籍	平成19年度末資料数
松山公民館図書室	957	209	126	1,040
三本木公民館図書室	76	178	2	252
鹿島台公民館図書室	13	210	0	223
岩出山公民館図書室	276	49	0	325
鳴子公民館図書室	417	18	190	245
沼部公民館図書室	1,453	0	0	1,453
合計	3,192	664	318	3,538

#### (3) 登録者数

図書室名	平成18年度末登録者数	新規登録者数	登録抹消	平成19年度末登録者数合計
松山公民館図書室	485	61	0	546
三本木公民館図書室	2,206	64	26	2,244
鹿島台公民館図書室	1,093	129	0	1,222
岩出山公民館図書室	2,293	165	0	2,458
鳴子公民館図書室	1,633	21	16	1,638
沼部公民館図書室	1,453	0	0	1,453
合計	9,163	440	42	9,561

#### (4) 資料貸出数及び利用者数(図書・雑誌・視聴覚資料)

図書室名	平成19年度貸出数	利用者数
松山公民館図書室	7,704	8,174
三本木公民館図書室	5,402	5,641
鹿島台公民館図書室	4,512	1,667
岩出山公民館図書室	8,876	3,489
鳴子公民館図書室	3,400	1,085
沼部公民館図書室	6,462	4,441
合計	36,356	24,497

※ 鳴子公民館図書室には川渡・鬼首地区公民館分含む  
沼部公民館図書室には、田尻・大貫地区公民館分含む

## 4 市立図書館の事業実績

### (1) 所蔵資料受払

		平成18年度 末蔵書数	受入	除籍	平成19年度 末蔵書数	構成比
児童図書	総記	432	32	37	427	0.31%
	哲学	424	36	30	430	0.32%
	歴史	1,873	165	137	1,901	1.40%
	社会科学	1,451	137	22	1,566	1.15%
	自然科学	2,940	346	99	3,187	2.35%
	技術	1,271	115	60	1,326	0.98%
	産業	628	86	26	688	0.51%
	芸術	2,074	167	114	2,127	1.57%
	言語	442	56	13	485	0.36%
	文学	15,605	1,075	1,146	15,534	11.44%
	紙芝居	1,154	49	3	1,200	0.88%
	絵本	10,530	1,038	257	11,311	8.33%
	参考図書	272	5	11	266	0.20%
	児童用文庫	416	56	73	399	0.29%
計	39,512	3,363	2,028	40,847	30.08%	

		平成18年度 末蔵書数	受入	除籍	平成19年度 末蔵書数	構成比
参考図書	総記	1,563	9	1	1,571	1.16%
	哲学	1,173	1	0	1,174	0.86%
	歴史	3,070	31	2	3,099	2.28%
	社会科学	4,017	60	10	4,067	3.00%
	自然科学	843	15	10	848	0.62%
	技術	757	17	1	773	0.57%
	産業	777	15	0	792	0.58%
	芸術	759	24	0	783	0.58%
	言語	342	15	0	357	0.26%
	文学	4,787	11	0	4,798	3.53%
	郷土資料	4,389	114	11	4,492	3.31%
	行政資料	2,539	50	0	2,589	1.91%
	逐次刊行物	8	0	0	8	0.01%
	計	25,024	362	35	25,351	18.67%

図書合計	124,733	7,509	3,050	129,192	95.15%
雑誌	3,843	1,255	971	4,127	3.04%

視聴覚資料	CD	695	137	31	801	0.59%
	CD-ROM	18	0	5	13	0.01%
	カセット	130	10	15	125	0.09%
	ビデオ	1,421	11	228	1,204	0.89%
	DVDEビデオ	171	146	6	311	0.23%
	計	2,435	304	285	2,454	1.81%

合計	131,011	9,068	4,306	135,773	100%
----	---------	-------	-------	---------	------

### (2) 決算及び受入資料数

#### ① 図書館費（除く職員人件費）

区分	図書購入費	官報・新聞・その他	資料購入費計	図書館管理等経費	計
金額	14,380,282円	754,706円	15,134,988円	21,677,926円	36,812,914円

#### ② 図書購入費の内訳

区分	決算額	購入冊数	一冊当り平均単価	市民一人当り購入費	市民一人当り冊数
一般図書	6,425,165円	3,309冊	1,942円	46.4円	0.0239冊
参考図書	1,465,561円	149冊	9,836円	10.6円	0.0011冊
児童図書	4,675,431円	3,234冊	1,446円	33.8円	0.0234冊
雑誌	636,537円	1,169冊	545円	4.6円	0.0084冊
視聴覚	1,177,588円	249点	4,729円	8.5円	0.0018点
計	14,380,282円	8,110点	1,773円	103.9円	0.0586点

#### ③ その他資料

- 官報 1種
- 新聞 中央紙 5紙 地方紙 3紙
- 雑誌 月刊誌 44誌 週刊誌 8誌 月2回 4誌 隔月誌 5誌 隔週誌 1誌 季刊誌 6誌 寄贈 6誌

(3) 利用状況

① 登録者数・貸出利用者数

区分	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	団体	計	備考
19年度登録者数	89	216	90	113	895	21	1,424	H19年度中登録人数
登録者数	196	886	555	609	5,335	143	7,724	全登録者
利用登録者	181	841	406	287	4,576	194	6,485	H18・19年度に利用した登録者
貸出利用者数	1,551	5,534	1,541	692	34,355	841	44,514	利用延べ人数

② 学習室・図書館利用状況

区分	個人利用者数	団体利用数	学習室利用者数	行事参加者数	施設利用者数	計
人数	43,673	841	6,806	973	594	52,887

③ 貸出数

区分	児童図書	一般図書	雑誌	参考図書	視聴覚資料	計
本館	77,720	97,156	11,629	1,209	16,783	204,497
本館団体	5,496	1,185	43	101	12	6,837
配本	0		0	0	0	0
貸出数計	83,216	98,341	11,672	1,310	16,795	211,334

④ 分類別貸出数

分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	紙芝居	その他	計
児童図書	651	1,141	3,086	1,435	3,898	2,167	624	7,565	785	27,514	30,238	4,112	0	83,216
一般図書	1,251	3,598	6,889	6,345	4,373	13,842	3,506	6,540	1,003	50,990			4	98,341
参考図書	55	42	398	247	91	50	44	50	14	319			0	1,310
計	1,957	4,781	10,373	8,027	8,362	16,059	4,174	14,155	1,802	78,823	30,238	4,112	4	182,867

⑤ 月別貸出数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
児童図書	5,537	5,125	6,706	7,435	7,934	7,500	6,751	7,551	6,955	6,873	6,697	8,152	83,216
一般図書	7,893	7,688	8,883	8,469	8,582	9,060	8,329	8,373	7,567	7,389	7,069	9,039	98,341
参考図書	115	133	143	111	145	102	82	115	86	99	87	92	1,310
雑誌	914	929	1,063	1,026	970	1,019	1,004	995	890	888	878	1,096	11,672
視聴覚	1,543	1,329	1,667	1,464	1,541	1,476	1,340	1,441	1,204	1,145	1,028	1,617	16,795
計	16,002	15,204	18,462	18,505	19,172	19,157	17,506	18,475	16,702	16,394	15,759	19,996	211,334

⑥ レファレンス処理状況

種別	電話	口頭	文書	計
件数	62	1,896	0	1,958

⑦ コピーサービス状況

6,806 枚

⑧ リクエスト処理状況

区分	受理冊数			処理冊数				回答率	取消	繰越
	繰越	H19年度	計	所蔵	購入	借用	計			
一般図書	234	4,903	5,137	2,920	570	1,307	4,797	93%	100	240
児童図書	34	1,544	1,578	1,244	129	121	1,494	95%	32	52
参考図書	1	70	71	63	1	5	69	97%	1	1
雑誌	30	650	680	513	0	101	614	90%	25	41
視聴覚	9	236	245	191	0	50	241	98%	0	4
計	308	7,403	7,711	4,931	700	1,584	7,215	94%	158	338

⑨ 利用状況指標

○ 1日の貸出冊数

$$\frac{\text{貸出冊数 } 211,334 \text{冊}}{\text{開館日数 } 272 \text{日}} = 776.96 \text{冊}$$

○ 1日の貸出人数

$$\frac{\text{貸出利用者数 } 43,673 \text{人}}{\text{開館日数 } 272 \text{日}} = 160.56 \text{人}$$

○ 1日の利用人数

$$\frac{\text{利用人数 } 52,887 \text{人}}{\text{開館日数 } 272 \text{日}} = 194.44 \text{人}$$

○ 市民1人当り貸出冊数

$$\frac{\text{貸出冊数 } 211,334 \text{冊}}{\text{人口 } 137,892 \text{人}} = 1.53 \text{冊}$$

○ 登録者1人当り貸出冊数

$$\frac{\text{貸出冊数 } 211,334 \text{冊}}{\text{登録者数 } 7,724 \text{人}} = 27.36 \text{冊}$$

○ 図書利用率

$$\frac{\text{貸出冊数 } 211,334 \text{冊}}{\text{蔵書冊数 } 135,775 \text{冊}} = 1.56 \text{冊}$$

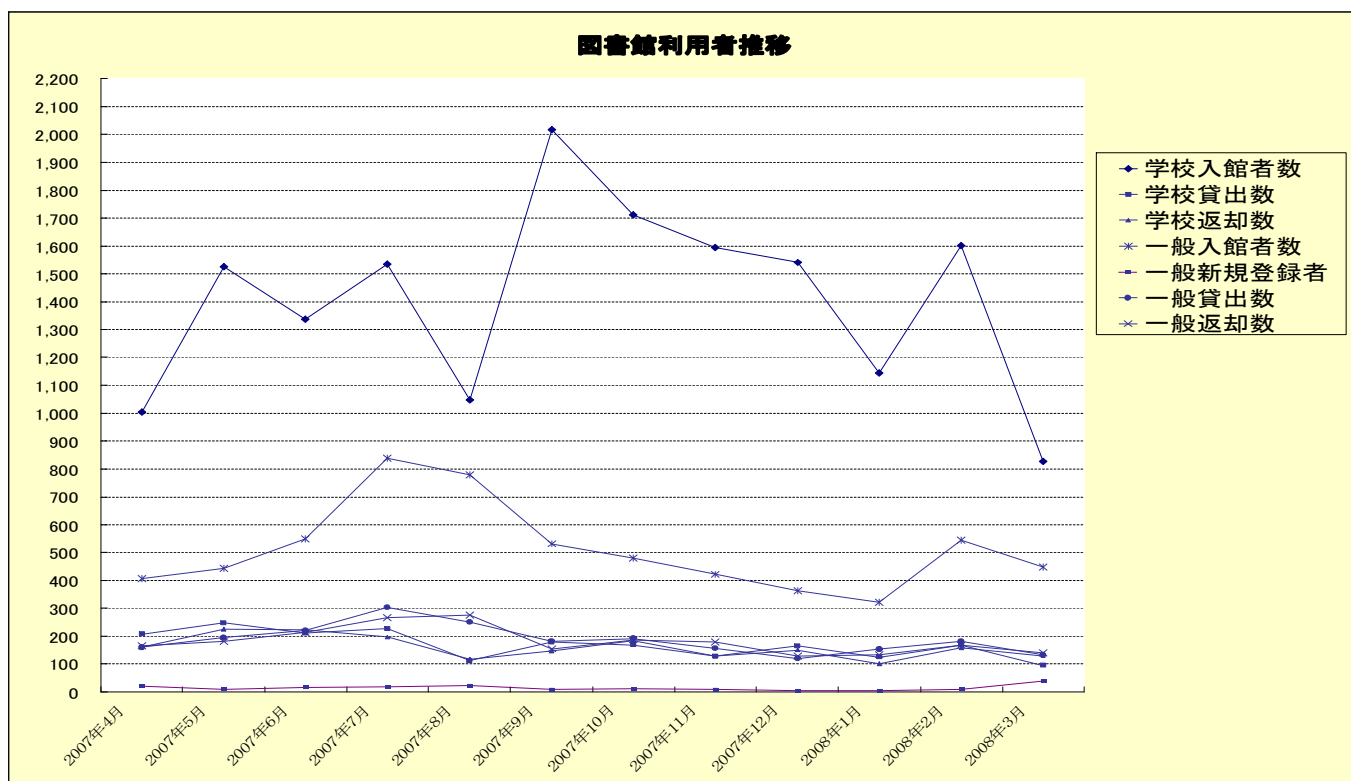
## 5 古川南中学校図書館利用状況

古川南中学校は、地域の人口増加と古川中学校・古川東中学校の学区再編による中学校規模の適正化を図るため、宮城県内初となるPFI手法を導入して新設され、平成18年4月に開校しました。

学校は“出会い”をコンセプトに設計され、学校図書館は一般開放されています。運營業務はPFI事業により民間のスタッフで管理運営され、一般利用者が日常的に利用し、放課後は一般利用者と生徒が同じ机で読書するなど、地域と生徒との静かな交流・出会いの場となっています。蔵書数は平成20年8月現在20,700冊で、これまでの利用状況等は表のとおりであります。

	学校入館者数	学校貸出数	学校返却数	一般入館者数	一般新規登録者	一般貸出数	一般返却数
2007年4月	1,004	208	162	407	20	160	166
2007年5月	1,524	247	225	444	10	195	180
2007年6月	1,338	211	222	550	16	220	214
2007年7月	1,535	226	196	838	19	303	266
2007年8月	1,047	111	118	779	22	250	276
2007年9月	2,017	179	147	531	8	182	155
2007年10月	1,712	167	183	481	11	192	186
2007年11月	1,595	127	128	421	8	157	179
2007年12月	1,540	164	150	363	5	120	127
2008年1月	1,144	124	101	321	5	153	134
2008年2月	1,602	168	158	545	10	182	168
2008年3月	827	94	130	449	38	132	140
合計	16,885	4,152	1,920	6,129	172	2,246	2,191

※蔵書数(2008年8月現在)  
20,700冊



大崎市子ども読書活動推進計画

発行／平成20年10月

発行者／大崎市教育委員会生涯学習課

〒989-6492

大崎市岩出山字船場21番

TEL 0229-72-5035

FAX 0229-72-4004